Thermal GATE
サーマルゲート

温度検知および顔認識装置

取扱説明書

オンライン版の最新 PDF マニュアルはこちらから
https://110.bz/assets/pdf/thermalgate.pdf

LKS-TM001

目次

1 製品保証

保証書 …… 1
保証期間 …… 1
免責事項 …… 1

2 商品説明

製品概要 …… 3
製品仕様書 …… 3
電気性能 …… 4
作業環境 …… 4
ポート説明 …… 4
計測画面 …… 5
アプリ説明 …… 5
インストールモード …… 6

3 設置と操作ガイド

設置と操作ガイド …… 7
製品紹介 …… 7
設置手順 …… 7
設置説明 …… 8
接続方法 …… 9

4 クライアントインターフェイスの機能紹介と説明

メインインターフェイスの説明 …… 12
4-1） メイン画面 …… 12
4-2） ログイン画面 …… 13
4-3） 設定画面 …… 14
4-4） ユーザー管理画面 …… 15
4-5） 管理画面 …… 16
4-6） 管理画面 …… 17

5 サービスプラットフォームの運用

概要・用語説明 …… 18
5-1） テクノロジー …… 18
5-2） 推奨ブラウザ …… 18
5-3） 多言語サポート …… 18
5-4） システムログイン …… 19
5-5） メインインターフェイスの説明 …… 19
5-6） デバイスへのアクセス方法 …… 20
5-7） 管理権限モデル …… 20
5-8） SaaS 管理機能 …… 21
5-9） SaaS カスタマー管理 …… 22
5-10）デバイスの登録 …… 24
5-11）システム管理 …… 25
5-12）デバイス管理 …… 33
5-13）スタッフ管理 …… 34
5-14）アラーム管理 …… 36
5-15）記録管理 …… 37

1 製品保証

保証書

温度検知及び顔認識装置は製品に欠陥があった場合 LKS が保証します。製品保証期間は元購入から 1 年間です。初期不良が判明しましたら修理または交換の対応をします。お問い合わせは、販売店へ製品モデルとお客様のご住所、ご注文番号をお伝えください。
厳しい検査を行い適切な配送方法を用いて返品交換対応致します。

保証対象外：人為的なさびや腐食、外的衝撃、不適当な取扱いや操作、不適当な管理、輸送時の損傷、非正規の修理や修理未遂、意図的な損傷、自然災害、非正規品の使用や推奨しない消耗品を利用した場合は保証対象外です。

保証期間

１年間返品交換の保証で送料は元払いで行います。現地での受け渡しをご希望の場合交通費はお客様ご自身でご負担ください。１年が経過した場合は往復の輸送代や修理代全額お客様負担となります。

免責事項

ここに含まれる情報の使用について特許責任を負いません。ここに含まれる情報の使用から生じたいかなる損害についても責任を負わないものとします。
ご購入された LKS 製温度検知製品の誤用、乱用、不正な修理、改造など製品管理と操作指示に沿わなかった場合に生じた損失または結果については責任を負わないものとします。

製品モデル	日付	訂正内容
LKS-TM001 LKS-TM001A LKS-TM001K LKS-TM001T LKS-TM001W	2020/4	顔認識機能付き温度検知器の取り扱い説明書 20.20.01

2 商品説明

温度検知　顔識別　アラーム　マスク検出

製品概要

・高パフォーマンス、高信頼性、高安定性のアンドロイドシステム
・最先端のコアとして使用される深層学習アルゴリズム
・標準 20,000 のデータベースで顔面認識の正確さは 99.97%、認識速度は 100ms
・写真や動画の偽造防止を目的とした双眼鏡
・8 インチ、A ゲージの液晶ディスプレイ、静電容量タッチスクリーン、フルスクリーンのインターフェイス
・強い光、バックライトや暗所の照明環境に対応する、200 万の情報処理機能をもつワイドダイナミックセンサー
・異常温度検知
・赤外線と RGB の二重光補正、干渉のない弱い光の識別
・オプション Wi-Fi/4G 回線
・多言語放送

製品仕様書

モデル	LKS-TM001 , LKS-TM001W , LKS-TM001A , LKS-TM001K , LKS-TM001T , LKS-TM001A-X
オペレーティング・システム	Android 7.1.2
カメラ	200 万ワイドダイナミック、デュアルカメラ、ブラックライト耐性
タッチスクリーン	1280×800
ディスプレイ解像度	1280×720
カメラ解像度	クアッドコア RK3288
CPU	ARM-A17 1.8GH　GPU:mail-T764
容量	メモリー 2G　ストレージ 8G
認証モード	顔認識、温度検知、オプションの IC カードと ID カード
測定範囲	35.5℃-42℃(医療用途ではない)
温度検知精度	精度 0.5℃　距離 30cm-50cm
ストレージ容量	20,000 の顔面データベースと 150,000 の記録
外部インターフェイス	USB RJ45 RS232 TTL リセットスイッチ、Wi-Fi アンテナインタフェース、ブレーキインタフェース
動作電圧	12V DC±20%
接続モード	有線、Wi-Fi、4G 回線
タイプ	壁掛けタイプ、デスクトップタイプ、子供用直立タイプ
取り付けモード	壁掛けブラケット、デスクトップブラケット、ゲート設置

注意：本製品の温度検知の機能は医療用途ではありません。本製品は人間の体温を素早く検知するためだけのものです。温度検知テストの前に本製品を起動しましたら稼働までに 15 秒必要とします。

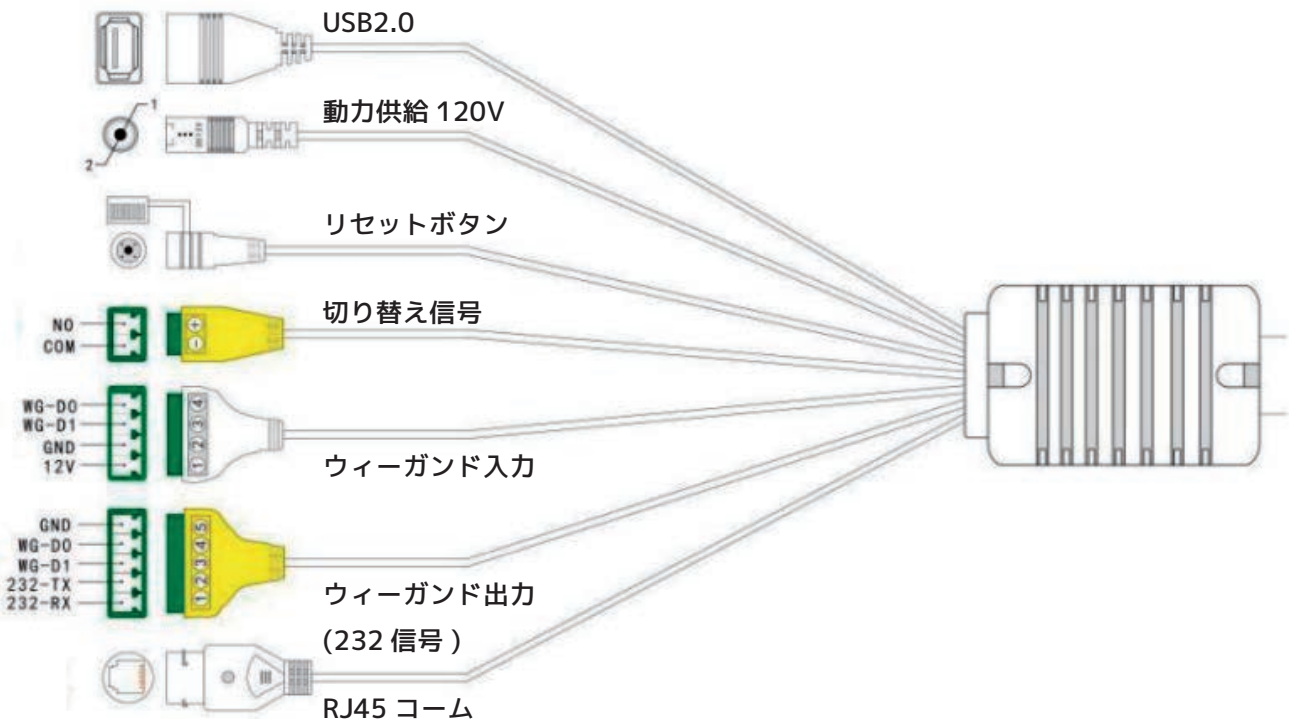
電気性能

入力電力	110-240VAC	出力電力	12V、5A DC
待機時消費電力	<0.5W	スピーカー電力	8ohm、1W
定格出力	<20W		

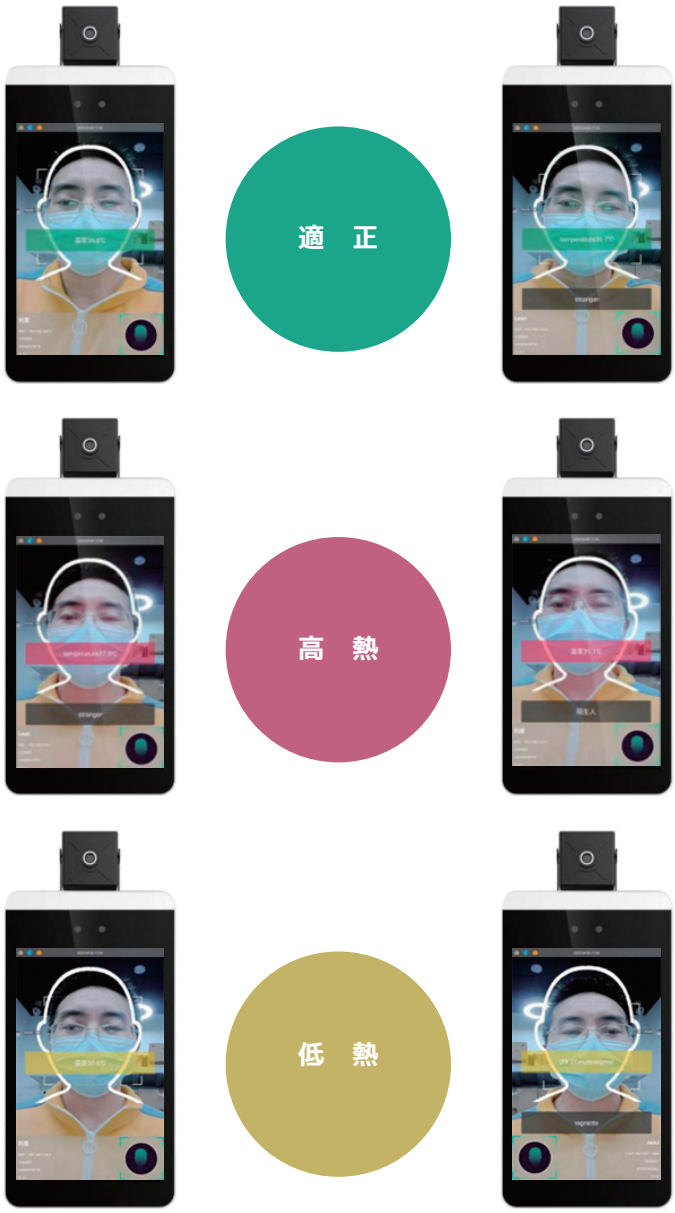
作業環境

動作温度	10℃-30℃
動作湿度	0%-90%RH
保管温度	-10℃から +60℃
保管湿度	0%-65%RH

ポートの説明



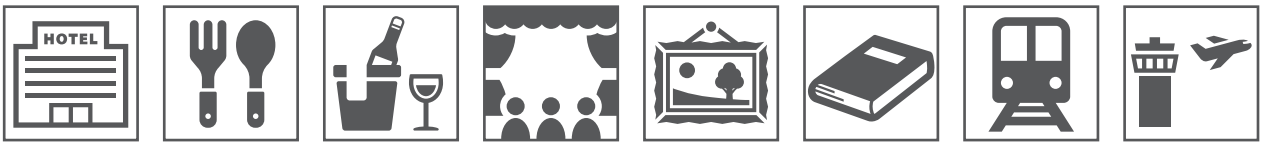
計測画面



アプリ説明

本製品は病院、学校、映画館、病院、スーパー、地下鉄、駅、空港など様々な場面で素早く検温できる商品です。

病院　学校　銀行　工場　オフィス　スーパー　コンビニ　スポーツジム



ホテル　飲食店　バー　劇場　美術館　図書館　駅　空港

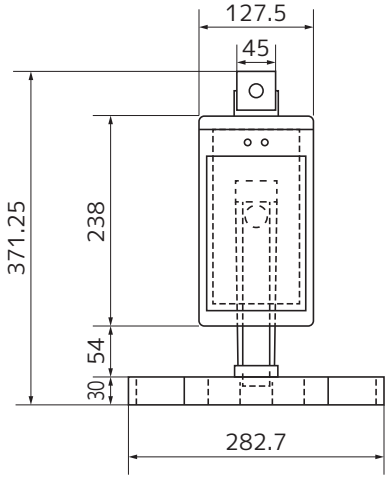
インストールモード

モデル：LKD-TM001W

Wall Mounted
壁面取付けタイプ

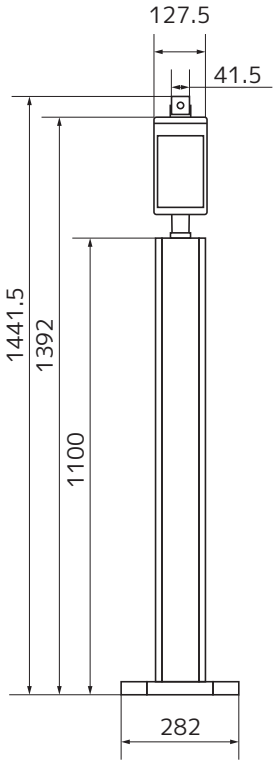
モデル：LKS-TM001T

Desktop
卓上据置きタイプ



モデル：LKS-TM001K(子供用)、LKS-TM001A(大人用)

Vertical
直立タイプ



注意

1．温度検知をご使用の際額は乾燥した状態で、髪の毛や帽子等で額を覆わないように計測してください。本製品は無風、強い太陽光、エアコンやヒーターなど室温調整器から離れた室内環境が必要です。
2．湿度高い場所に設置しないでください。野外に設置する際には防湿性のあるカバーをご使用ください。湿った場所での使用環境は電子部品の急速に劣化を加速させ、製品の寿命を縮めます。
3．紫外線の強い場所や直射日光下に設置しないでください。気温が 30℃超えた場合に液晶に紫外線や高温を晒すと液晶分子の偏向を加速します。気温が 30℃を超えた場合に劣化を加速させるので室内での使用か日よけの対策を行ってください。
4．大気温が 10℃を下回った場合液晶分子の偏向が原因で完全に機能しない可能性がございます。10℃以下でのご使用は推薦しません。

この製品の推奨気温は 10℃から 30℃、推奨湿度は 10%から 80%です

3 設置と操作ガイド

製品紹介

温度検知と顔認識機能一体型の本製品はコンパクトで置きやすく迅速で便利にご使用いただけるうえに設置も簡単です。

注意：こちらの設置ガイドは標準の順序と方法に基づいています。 取り付けの過程で、ご不明点がありましたら販売店へご連絡ください。

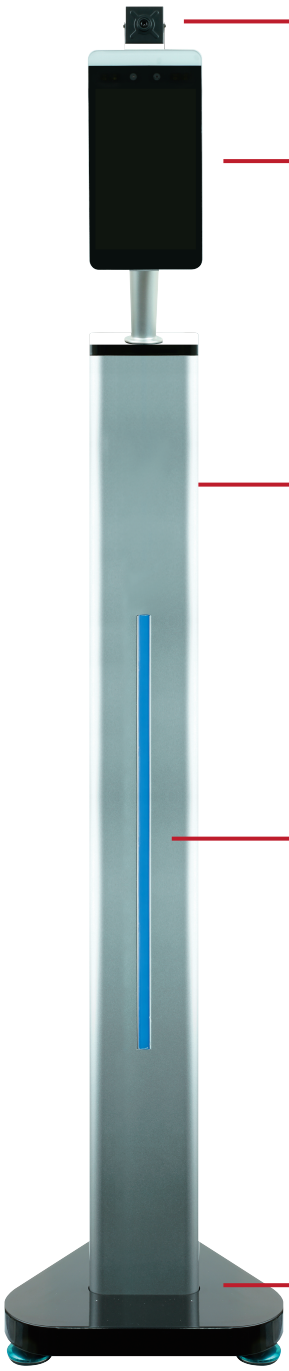
設置手順

本製品を設置前に環境要因を事前に確認してください。

警告

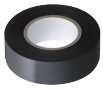
・セキュリティ：本製品の全体的に板金で構成されておりブラケットと土台がしっかりと設置されなければなりません。
・適切な設置場所：本製品は適切な場所に設置しなければなりません。直立タイプのモデルは室内のみ利用いただけます。
・電源：入力電力は単相の 100V-240V(AC) で、12V の電源アダプタとネット回線を本機ブラケットの下部と繋げる必要があります。

設置説明



別途ご用意してください

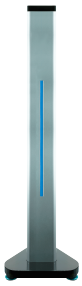
プラスドライバー



絶縁テープ

梱包品内容

本体



金属ブラケット

電源アダプタ

電源コード

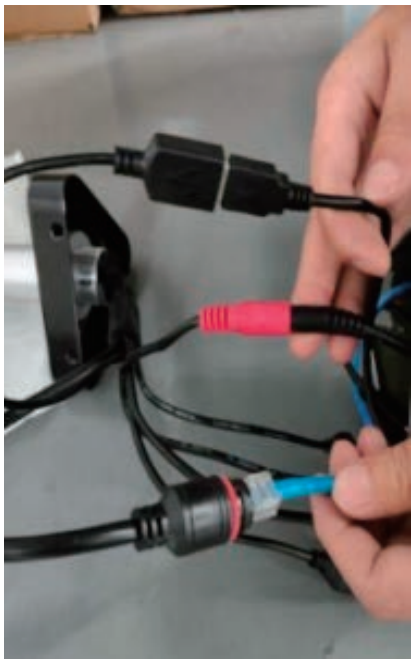
LAN ケーブル

接続方法

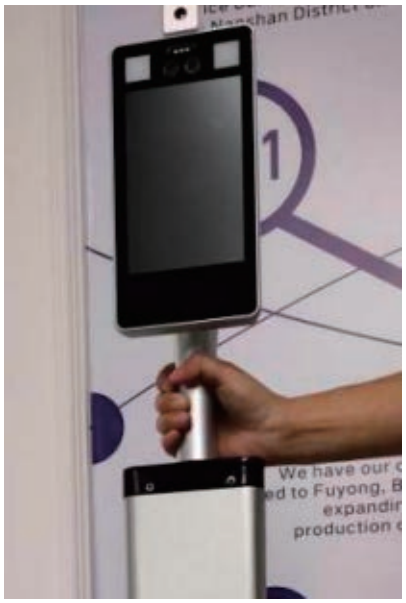
1．台座のトップカバーを外して指定の USB 延長ケーブルとブラケット内部の DC 電源コードヘッドを差し込んでください。

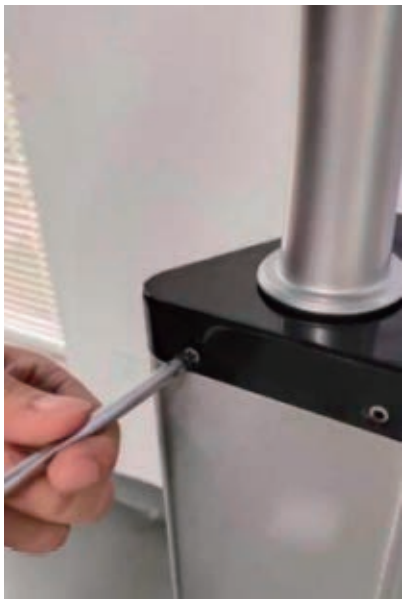
2．防水ワッシャー、弾性ワッシャー、ナットを取り外して、台座のトップカバーを液晶モニターにはめ込みます。そしてトップカバーの下から先ほど取り外した防水ワッシャー、弾性ワッシャー、ナットの順で装着し直します。

3．USB ケーブル、ネットワークケーブル、2V DC 電源コードと繋げて接続部分が離れないように絶縁テープで固定します。

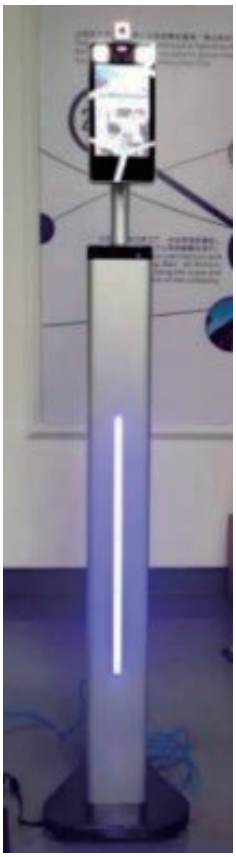


4．金属ブラケット内の接続ワイヤーをきつく結び、トップカバーを台座に装着し直してネジで固定します。





5．ネットワークケーブルと 12V DC 電源コードを土台の差込口へ繋げ、本機を起動します。

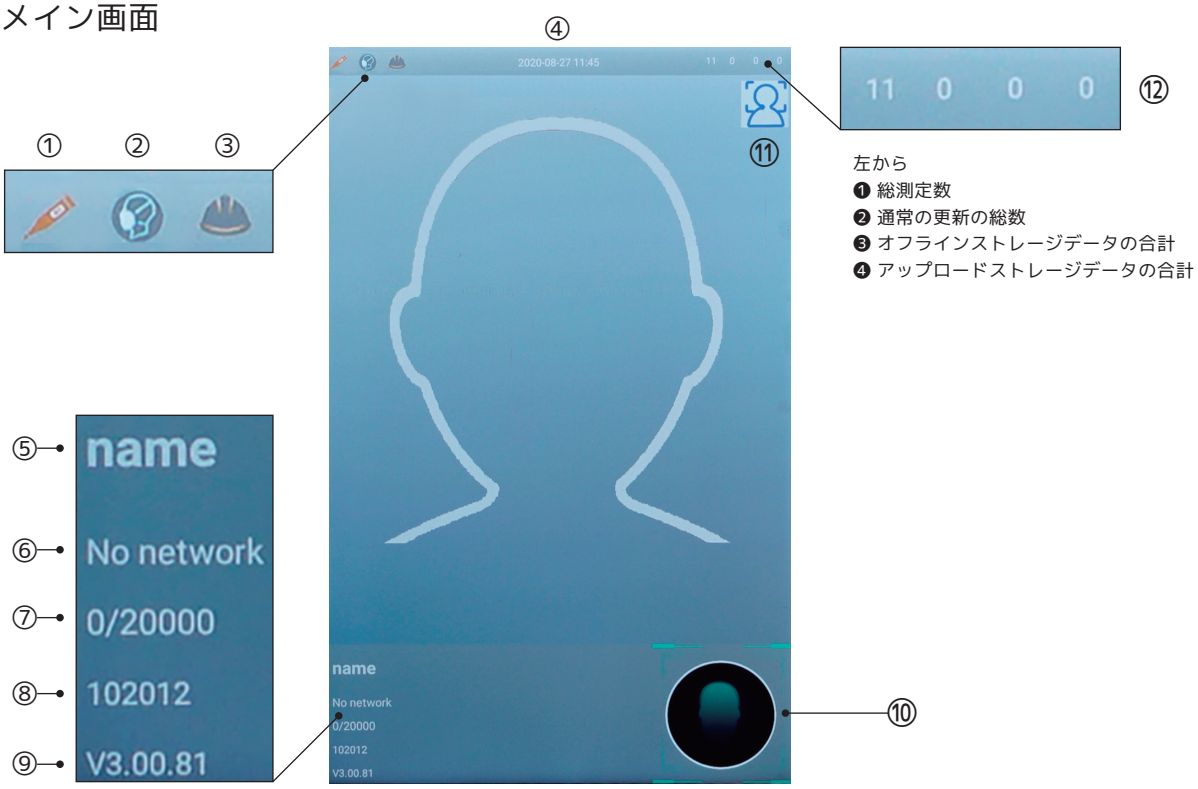


解決できない問題がある場合は、操作・保守メーカーにお問い合わせください。

4 クライアントインターフェイスの機能紹介と説明

I メインインターフェイスの説明

4-1）メイン画面



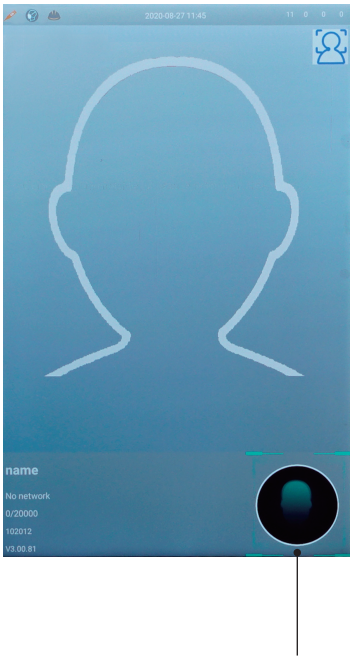
（1）インターフェイス説明

電源コードを接続し、タブレットの画面に顔を向けると、下の画面になります。こちらのインターフェイスがメイン画面となり、重要な情報などすべての検出はこの画面上で行われます。

（2）インターフェイスの表記説明

①温度検知アイコン：温度検知機能がオン時はオレンジ、オフ時はグレーに表示
②マスク検知アイコン：マスク検知機能がオン時はブルー、オフ時はグレーに表示
③ヘルメット検知アイコン：ヘルメット検知機能がオン時はオレンジ、オフ時はグレーに表示
④時間：ローカルネットワークで設定された時間の表示
⑤会社名（設定で登録変更可能）
⑥ネットワークモードと IP アドレス
⑦登録数と登録上限（登録者の一覧は文字の上を 2 秒以内に 10 回クリックすると確認可能）
⑧デバイス番号
⑨APP バージョン名
⑩登録完了後、登録者の写真が枠内に表示
（設定画面を開くには黒い丸のエリアを 2 秒以内に 10 回クリックすると確認可能）
⑪カンパニーロゴ
⑫パイプラインデータアプリ起動後、テスト温度（35.5-42）内の温度検知日が記録されます。

4-2）ログイン画面



このエリアを２秒以内に
10回クリックでログイン
画面へ

（１）インターフェイス説明

ログイン画面です。設定画面や登録者リストの確認をするためにはログインする必要があります。パスワードは「123」が初期設定となっています。パスワードは設定画面で変更可能です。

（２）インターフェイスの表記説明

正常にログインできた場合に関して特記する内容はございません。
パスワードを忘れた場合は①を２秒以内に５回素早くクリックしてください。
その後、②の位置を２秒以内に５回素早くクリックすると、設定画面が開きますので、パスワードと設定の編集が可能になります。

4-3）設定画面

（１）インターフェイス説明

設定画面です。IP サーバーや会社住所、設定内容を確認できます。

（２）インターフェイスの表記説明

①クリックで管理画面を表示

②ログインパスワード入力

③メイン画面に表示する会社名

④サーバー IP アドレス

⑤音声プロンプト。音声を認識する機能がありますがデフォルトでは全て選択できません。

⑥アクセスコントロール。顔、安全ヘルメット、マスク、温度検知の 4 項目を選択可能で初期定では全てオンになっています。最低 1 つは選択する必要があります

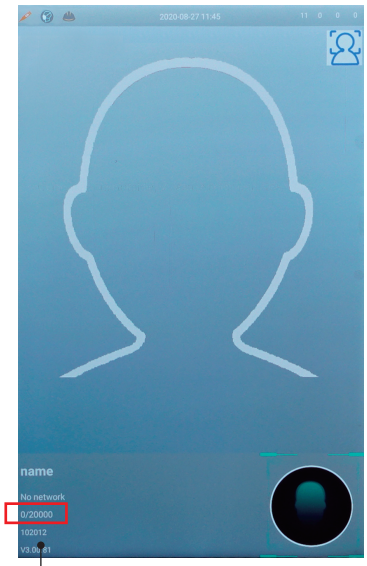
⑦オフラインデータ容量。ネット未接続の状況でご使用いただく場合はネットが接続されるまでの間本機に保存されます。

⑧ソフトウェア初期化（ 使用の際は注意してください。出荷前にプラットフォームを設定、バインディングしているため、初期化後は APP 全ての設定が白紙となり当社はプラットフォームに接続できなくなります。お客様のプラットフォームがバインディング出来ましたら案内が可能となります）

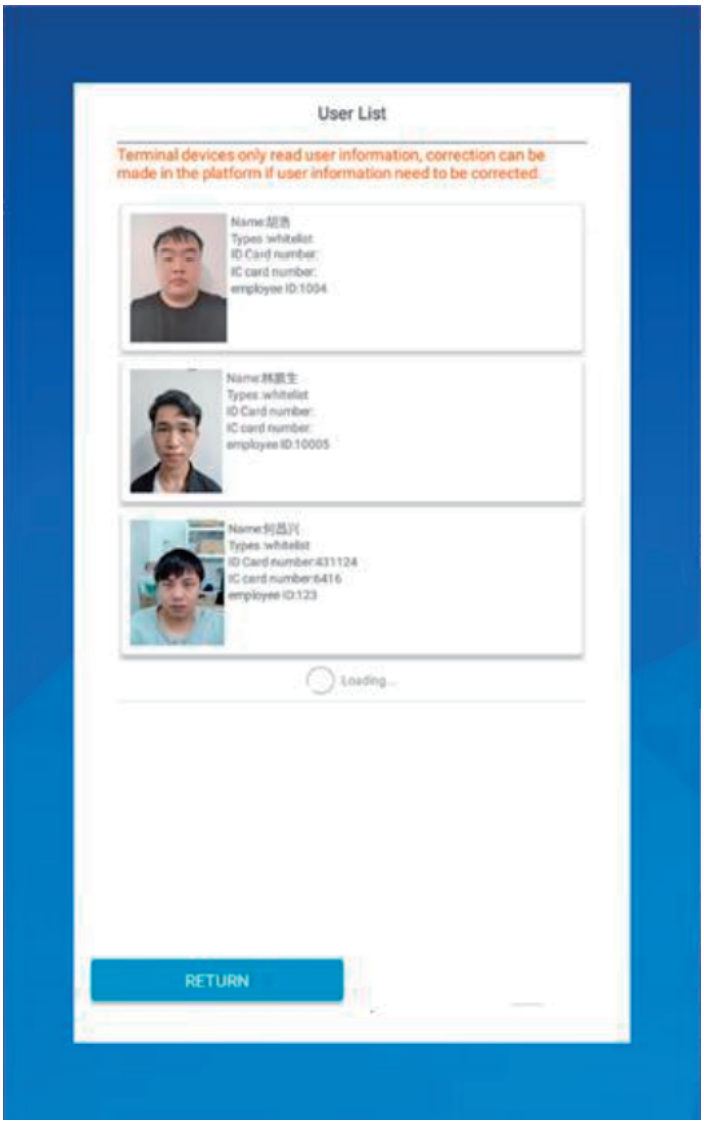
⑨顔検出機能がオンになっているかどうか
⑩顔写真がアップロードされているかどうか
⑪ヘルメット検知機能がオンになっているかどうか
⑫マスク検知機能のテストをするかどうか
⑬温度検知するかどうか
⑭温度表示 (華氏摂氏どちらか一方)
⑮温度検知時のアラーム

音量の調整について
次ページ「4-5」に記載の管理画面より、②終了アプリをタップ
Android のホーム画面で下から上にスワイプし「設定」を表示させタップ
「音」の設定をタップし、メディアの音量を調整してください。
電源を切り、再度電源を入れなおしてください。

4-4）ユーザー管理画面



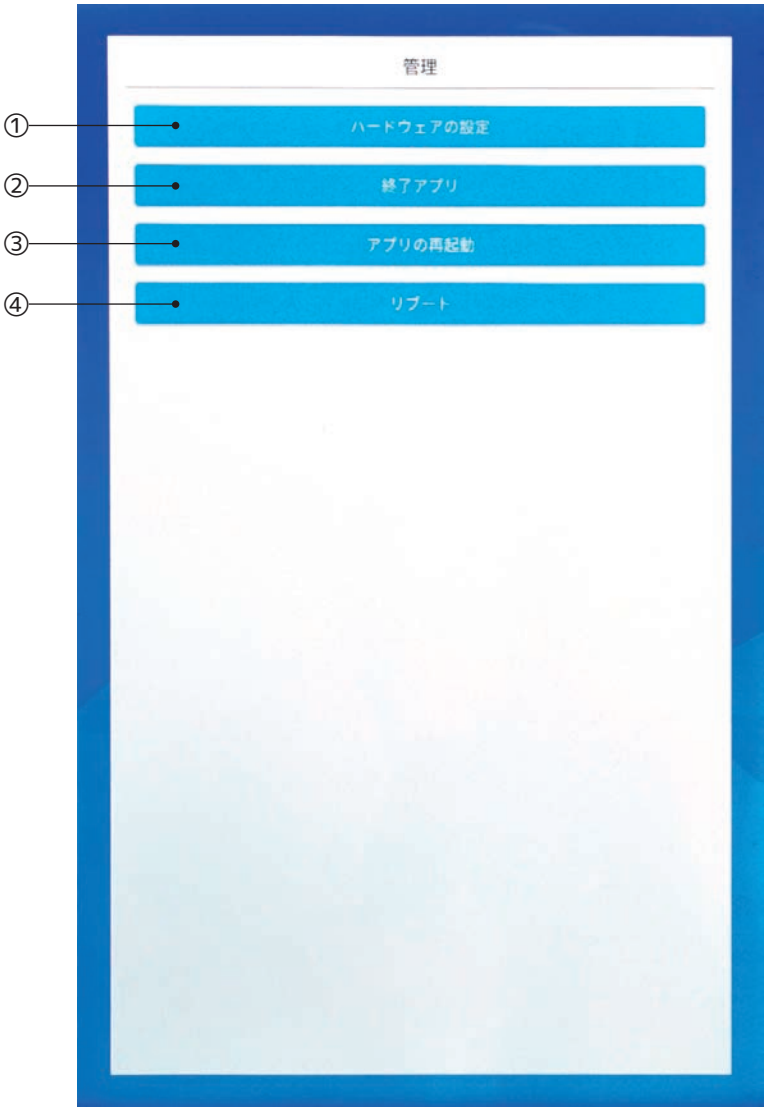
このエリアを２秒以内に
10回クリックでユーザー
リスト画面へ



（１）インターフェイス説明
設定画面です。IP サーバーや会社住所、設定内容を確認できます。

4-5）管理画面

このエリアをクリックで
管理画面へ



（１）インターフェイス説明

こちらは管理画面で新しいインターフェイスは主に手動で APP を終了するため、またはデバイスを再起動するために使用されます。新機能は後から追加できるようになります。

（２）インターフェイスの表記説明

①ハードウェアパラメータの設定。押すと設定画面に移ります
②アプリを終了しシステムメイン画面に移ります
③アプリを再起動します。
④デバイス再起動

4-6）管理画面

（１）インターフェイス説明

こちらはハードウェアの設定、登録画面です。外部機器の選択と構成が可能です。

（２）インターフェイスの表記説明

①生物学的検出。生体検出 (NEW)

②アクセス制御時間：アクセス制御の操作を可能にする時間が選択できます。

③リレーモード：ハードウェアのオプションで通常電源オンか通常電源オフの選択が出来ます。ご使用の場面や状況に合わせて設定してください。

通常電源オン：通常電源オンを選択した場合、本機が電源オフの際に自由に使用できないようにアクセス制御が可能です。

通常電源オフ：通常電源オフを選択した場合、本機が電源オフの際にアクセス制限が無効となります。

5 サービスオペレーションプラットフォーム

I 概要

こちらのプラットフォームは SaaS が管理し構成したクラウドプラットフォームです。多数の利用者がお互いに干渉すること無く同じ機能を使用できるように管理しています。

5-1）テクノロジー

オペレーター：クラウドプラットフォーム全体を管理している企業を参照してください。企業はクラウドプラットフォーム上における一般カスタマーの特権管理者の権限を所有します。

カスタマー：オペレーターからデバイスを購入した後、クラウドプラットフォーム上の特定の企業向けに作成した仮想企業アカウントを指します。

ユーザー：クラウドプラットフォームのウェブ管理システムにログインできるアカウントを指します。各ユーザーは特定のカスタマーに属し、すべてのアカウントはクラウドプラットフォーム上で固有のものです。

特権管理者：クラウドプラットフォームが確立されてから初期内蔵されているアカウントでログインができます。デフォルトで管理者ユーザーがオペレーターのカスタマーでシステム全体において最高の管理権限を所有します。

システム管理者：カスタマーごとに仮想企業アカウントが作成されるとシステム管理のアカウントとパスワードが要求されます。プラットフォームで独自のアカウントが作成できましたらカスタマーのシステム管理者となります。

スタッフ：スタッフはカスタマー管理に含まれます。顔認識と温度検知、ユーザーとスタッフは完全に独立した構成です。

5-2）推奨ブラウザ

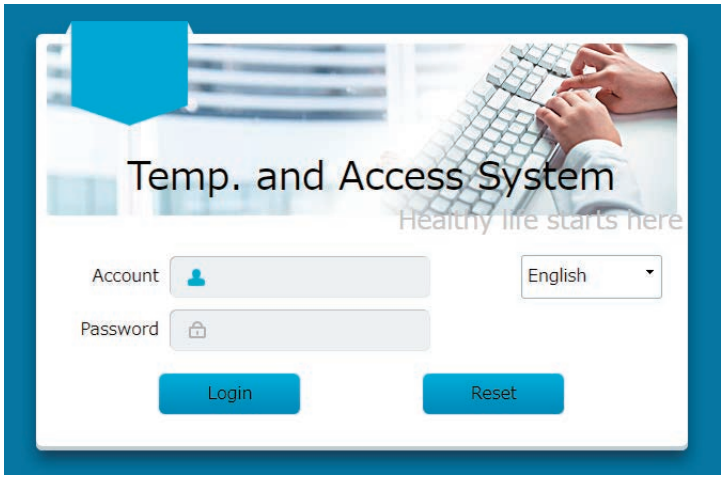
本システムは Google ブラウザでの使用を前提としています。もし他のブラウザで使用していただく場合一部の機能が表示されない、または正しくご使用いただけない可能性がございます。

5-3）多言語サポート

デフォルトで言語設定は英語と中国語になっています。多国にお使いいただけるよう設計しておりますが、非対応の言語は事業担当者とやり取りしていただく必要がございます。原則多言語サポートは有料になります。お客様が中国語から翻訳した現地語を提供し、技術スタッフが頂いた情報を元にローカリゼーション致します。右から左に書かれた現地語はサポート対象外です。

5-4）システムログイン

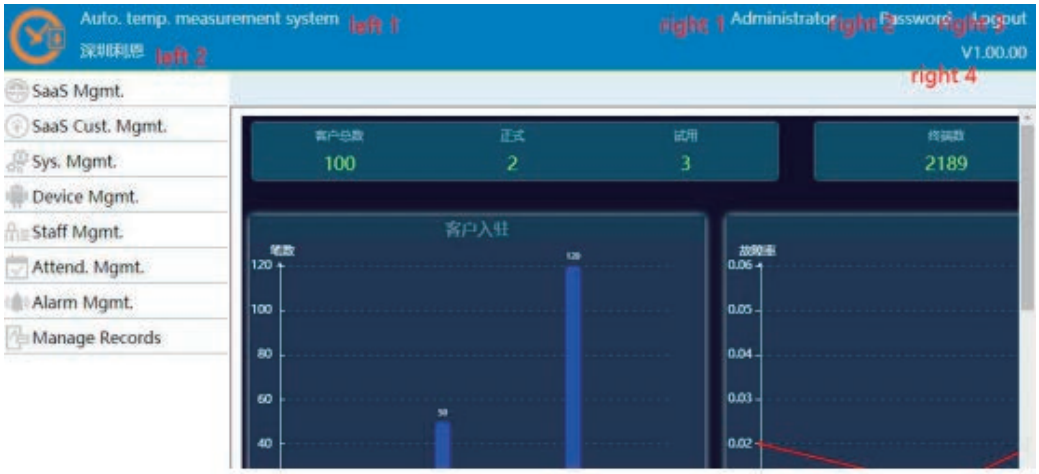
http://123.207.234.19/cwaac/login.html?lan=1 にアクセスしログイン画面でアカウントネームとパスワードを記入しログインしてください。



アカウントとパスワードは発送完了時にメールにて、送付させていただきます。

5-5）メインインターフェイスの説明

メインインターフフェイスは画面上部の情報総合エリア、画面左のメニューバーエリア、右側に主要操作エリアの 3 つで構成されています。



・総合情報エリア

Left1: クラウドプラットフォーム名
Left2：現在ログイン中のカスタマー名
Right1：現在ログイン中のユーザー名
Right2：現在ログイン中のユーザーパスワードを変更
Right3：ログアウト
Right4：ソフトウェアプラットフォームのバージョン

・メニューエリア

二段階表示になっており、2 段目は機能のメニューです。オペレーターユーザーは SaaS 管理メニューとカスタマーメニューの観覧が可能です。一方、カスタマーユーザーはカスタマーメニューのみを表示できます。

・主要操作エリア

特定の操作をすることができます。

5-6）デバイスへのアクセス方法

クラウドプラットフォームに接続するために登録→アクティブ化→追加の 3　ステップを実行します。

・登録

ハードウェアコードとハードウェアコードタイプを使用してシステムに端末登録をします。ハードウェアコードは画面に表示されます。

・アクティブ化

登録済みのデバイスを端末に追加します。OK ボタンを押してデバイスをアクティブにします。アクティブ化完了後、下の画像の赤枠の位置に 6 桁の番号が表示されます。

・追加

アクティブ化された端末はデフォルトでオペレーターのカスタマーに属します。アカウントの表示と管理ができるようにサーバー上で特定のカスタマーを端末に追加する必要があります。

5-7）管理権限モデル

このシステムは機能、ロール (担当)、ユーザーの 3 つの管理権限が含まれます。

・機能

システム上での操作。主に表示 (リストと特定の情報) と編集 (追加、削除、変更、確認) の機能

・ロール (担当)

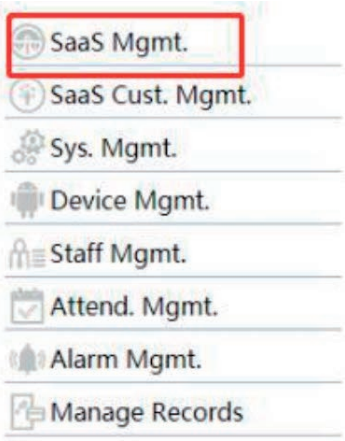
特定の操作を実行できるユーザーの指定の事を指します。ロールを割り当てることができ、ユーザーは自動的に対応するすべての機能の編集権限を所有します。各ロールには編集可能な値域があります。

・ユーザー

システムにログインし特定の操作を実行できるアカウントです。各ユーザーが持つことのできるロールは 1 つのみです。

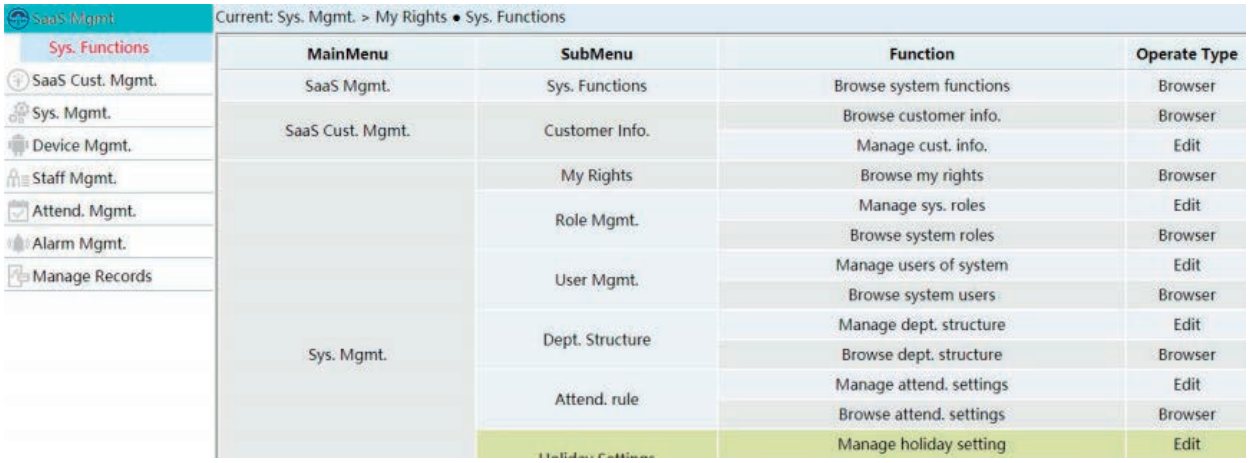
5-8）SaaS 管理機能

SaaS 管理機能は、カスタマーではなく SaaS オペレーターに提供されます。SaaS 管理
機能には、SaaS システム管理、SaaS カスタマー管理、およびデバイス登録が含まれます。SaaS システム管理メニューは次のとおりです。



5-8.1）システム機能

システム機能は現在のバージョンのクラウドプラットフォーム全ての機能を確認できます。



MainMenu	SubMenu	Function	Operate Type
SaaS Mgmt.	Sys. Functions	Browse system functions	Browser
SaaS Cust. Mgmt.	Customer Info.	Browse customer info.	Browser
		Manage cust. info.	Edit
Sys. Mgmt.	My Rights	Browse my rights	Browser
	Role Mgmt.	Manage sys. roles	Edit
		Browse system roles	Browser
	User Mgmt.	Manage users of system	Edit
		Browse system users	Browser
	Dept. Structure	Manage dept. structure	Edit
		Browse dept. structure	Browser
	Attend. rule	Manage attend. settings	Edit
		Browse attend. settings	Browser
		Manage holiday setting	Edit

5-9）カスタマー管理

SaaS のカスタマー管理メニューは次のとおりです。

SaaS カスタマー管理インターフェイスを使用するとカスタマー表示やカスタマー情報、カスタマー登録の管理が出来ます。

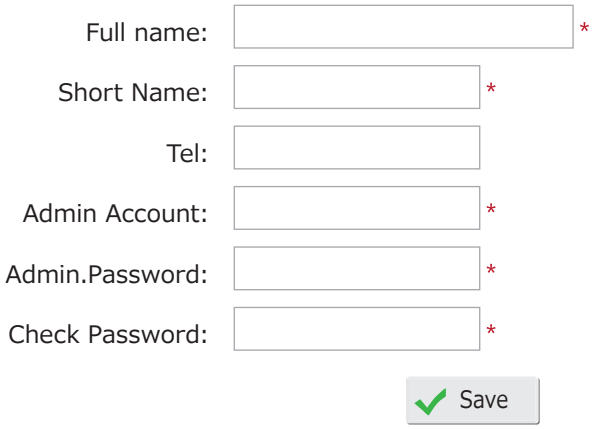
5-9.1）カスタマー表示

左側のメニューをクリックします。カスタマーのリストが主要操作エリアに表示されます。カスタマーの情報に基づいて絞り込み機能が使用可能です。

主要操作エリア右上に "New Cust" ボタンが表示されます。(全ての追加ボタンはこの位置に表示されますが、こちらの説明に関しては後述しません)

5-9.2）カスタマー管理

リストの "New Cust" ボタンをクリックし、情報を入力した上で "Save" をクリックすることでカスタマーの追加が完了します。カスタマーを追加するときはシステム管理者のアカウントとパスワードの入力が必要です。追加登録が完了するとシステムにログイン出来ます。

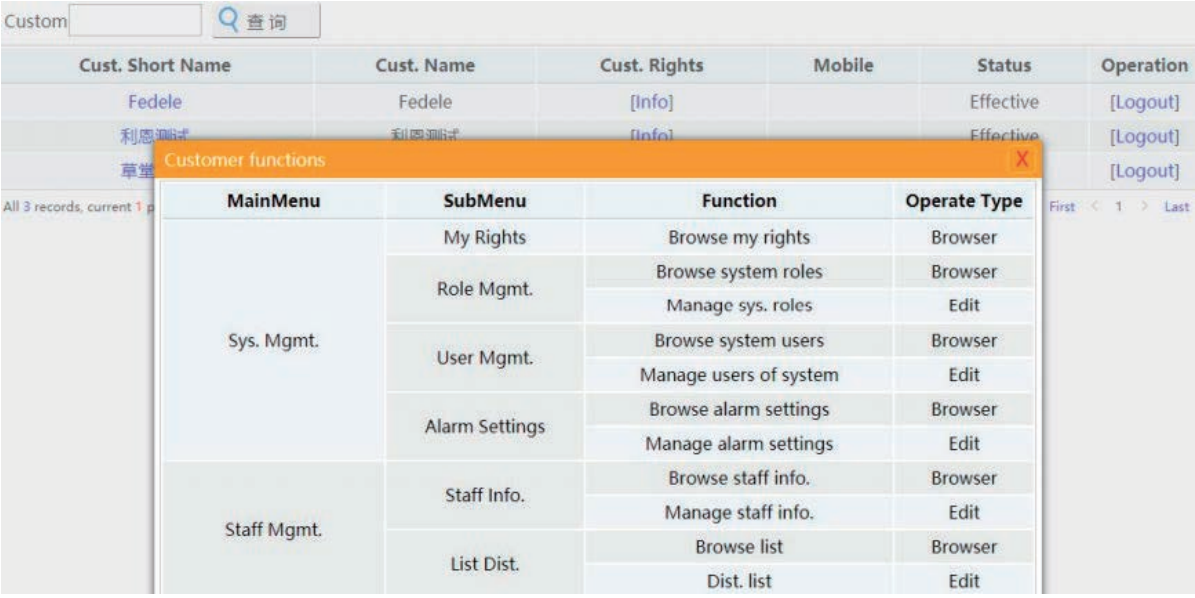


5-9.3）カスタマーの削除

システムを使用しないカスタマーはリスト右側の Logout をクリックして情報を削除できます。削除されたカスタマーはシステムにログインできなくなります。

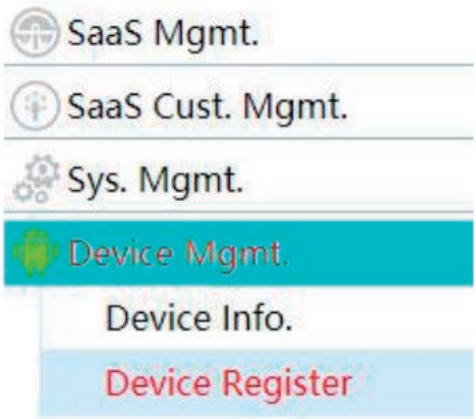
5-9.4）カスタマー権限の表示

リストの画面で Cust. Rights 枠内にある“Info”のリンクをクリックするとシステム上の権限表示が確認できます。



5-10）デバイス登録

デバイス登録のメニューは次の通りです。



デバイス登録はオペレーターのみが使用できる SaaS 機能です。

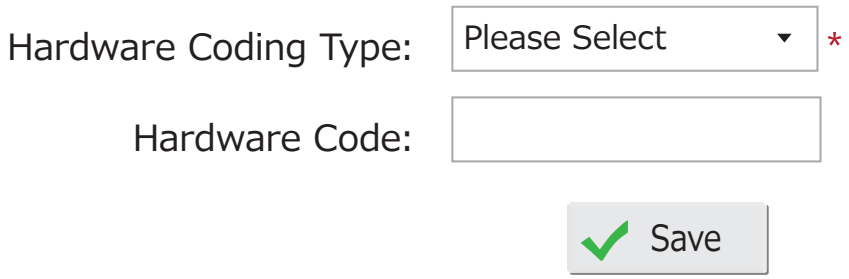
5-10.1）登録済みデバイスの表示

左側のデバイス登録メニューをクリックします。登録済みのデバイス一覧が絞り込みの条件順で表示されています。

Hardware Code	Hardware Coding Type	所属客户	Device No.	Status	Operation
50UB0YJ6AK	CPU SN	深圳利恩		Registered	[Reset]
LNGNWCX99P	CPU SN	深圳利恩		Registered	[Reset]
5OUB0HVF1Q	CPU SN	深圳利恩	100007	Activated	[Reset]
5OUB0YJ6AK	CPU SN	深圳利恩	100010	Activated	[Reset]
LNGNWECMME	CPU SN	深圳利恩	100013	Activated	[Reset]
LNGNWHOA1B	CPU SN	深圳利恩	100014	Activated	[Reset]
5OUB0C41FS	CPU SN	深圳利恩	100015	Activated	[Reset]
LNGNW11IPA	CPU SN	深圳利恩	100016	Activated	[Reset]
DBF6P0A9R7	CPU SN	深圳利恩	100018	Activated	[Reset]

5-10.2）登録情報の追加

“New Register” のボタンをクリックしてします。デバイスのハードウェアコード入力後コードライプを選択し、登録情報を追加します。(現在は CPU SN のみ)

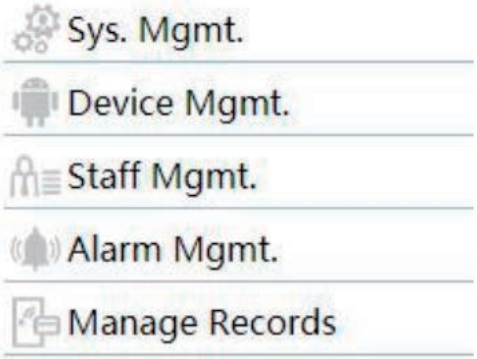


5-10.3）デバイスの初期化

“Operation” 列の “Reset” で指定したデバイスの初期化を行います。初期化のデバイスは登録された状態です。端末でご使用、再度追加した後で利用できます。

・カスタマー管理機能

内部機能、デバイス、カスタマーの担当者の管理をすることができます。この機能にはシステム管理、デバイス管理、スタッフ管理、アラーム管理、記録管理が含まれます。



5-11）システム管理

システム管理者は管理やユーザー管理、アラーム設定のロールが含まれます。

5-11.1）権限

カスタマーすべての機能管理権限を表示できます。

MainMenu	SubMenu	Function	Operate Type
Sys. Mgmt.	My Rights	Browse my rights	Browser
	Role Mgmt.	Browse system roles	Browser
		Manage sys. roles	Edit
	User Mgmt.	Browse system users	Browser
		Manage users of system	Edit
	Alarm Settings	Browse alarm settings	Browser
		Manage alarm settings	Edit
Staff Mgmt.	Staff Info.	Browse staff info.	Browser
		Manage staff info.	Edit
	List Dist.	Browse list	Browser
		Dist. list	Edit
Device Mgmt.	Device Info.	Browse device info.	Browser
		Manage devices info.	Edit
Alarm Mgmt.	Query Alarm	Browse alarm records	Browser
Manage Records	Query Records	Browse records	Browser

5-11.2）ロール管理

ロールの追加と削除が可能で、ロールに権限を与えられます。ロール管理画面を開くと右側に既存のロールリストが表示されます。

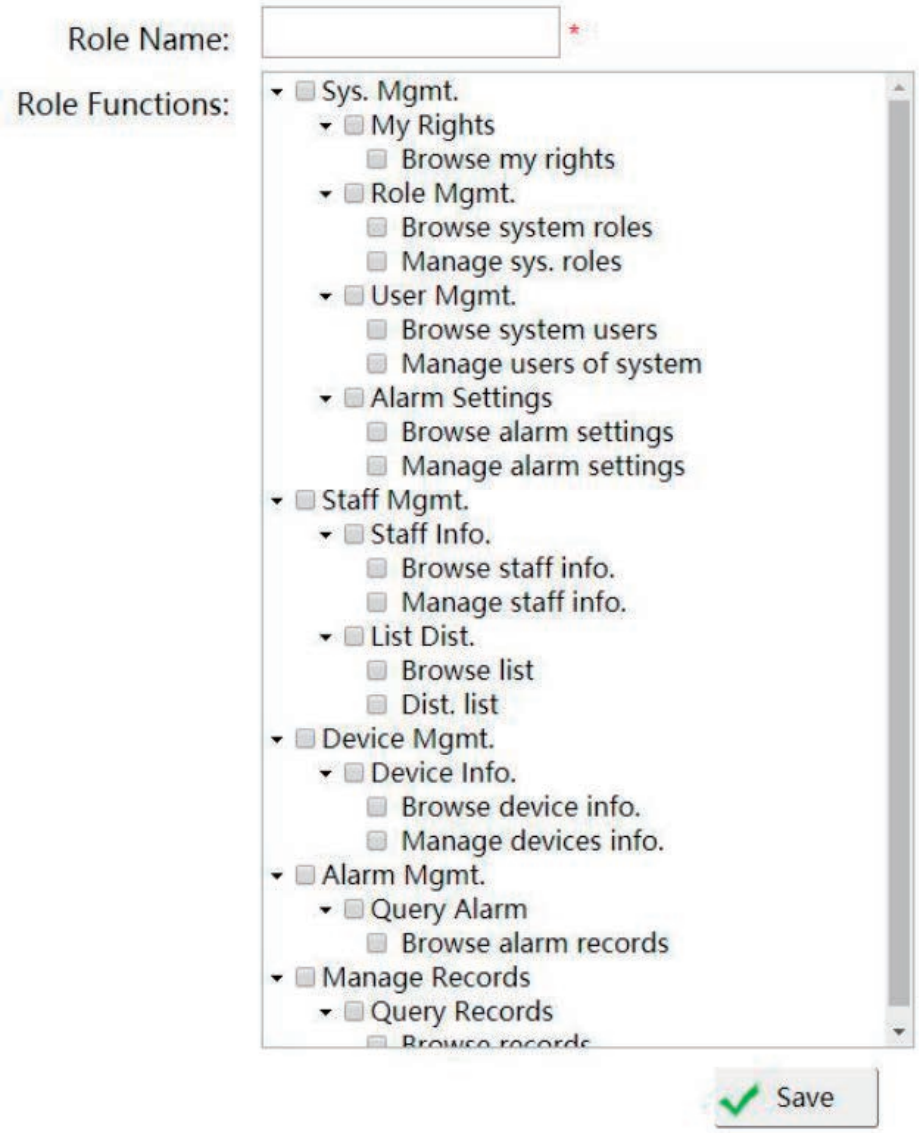
5-11.2a）ロールの表示

ロール名をクリックします。画像のように確認や管理できるように画面上にロールの情報が表示されます。

ロール名の変更、機能の調節が可能です。システム管理者は常に全システム内の権限を保有しています。

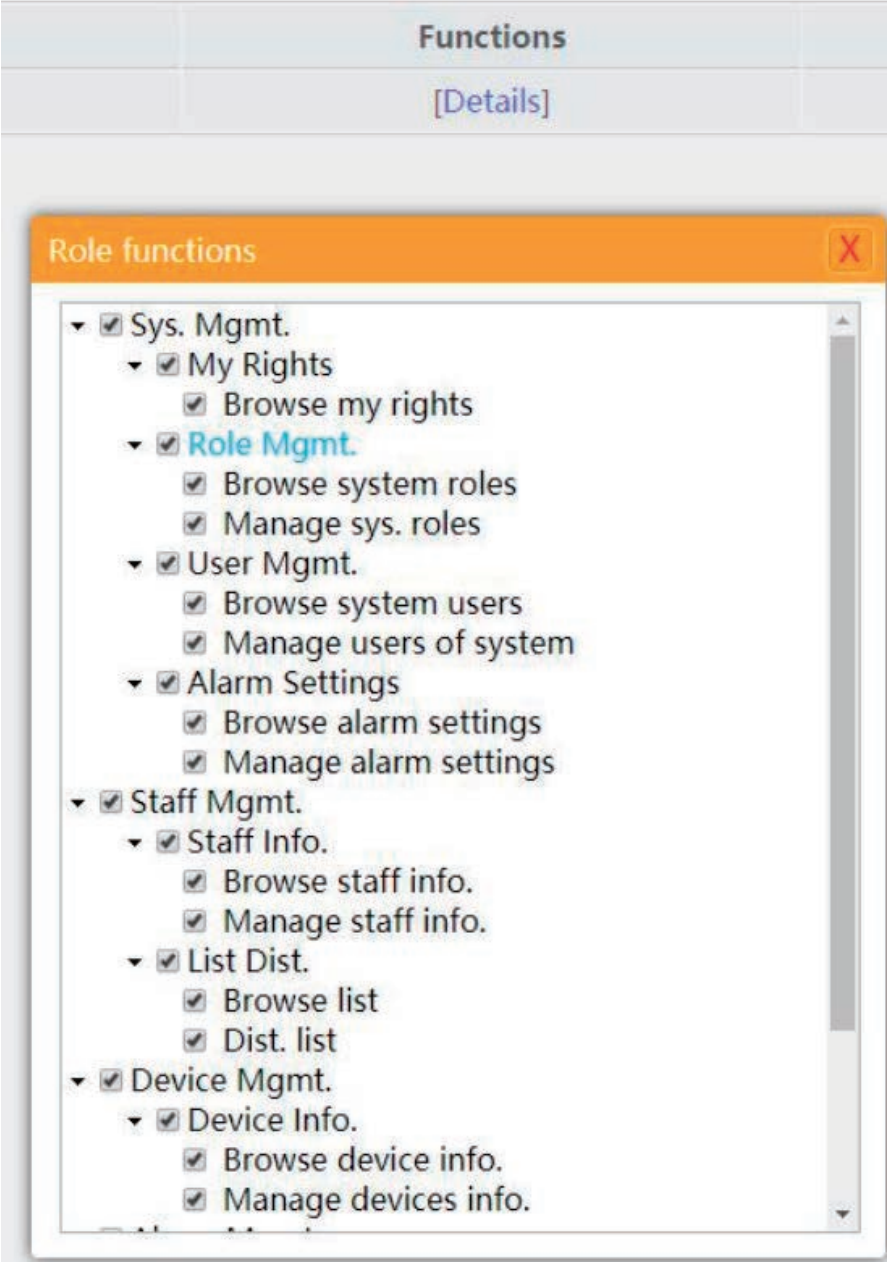
5-11.2b）ロールの追加

“Add Role” をクリックしてロールを追加し、ロール機能を指定します。



5-11.2c）ロール権限の表示

“Functions” 列の “Details” をクリックするとロールの操作権限が確認出来ます



5-11.2d）ロールユーザーの表示

ユーザーのロールを確認するために縦の表をクリックしてください。

5-11.2e）ロールの削除

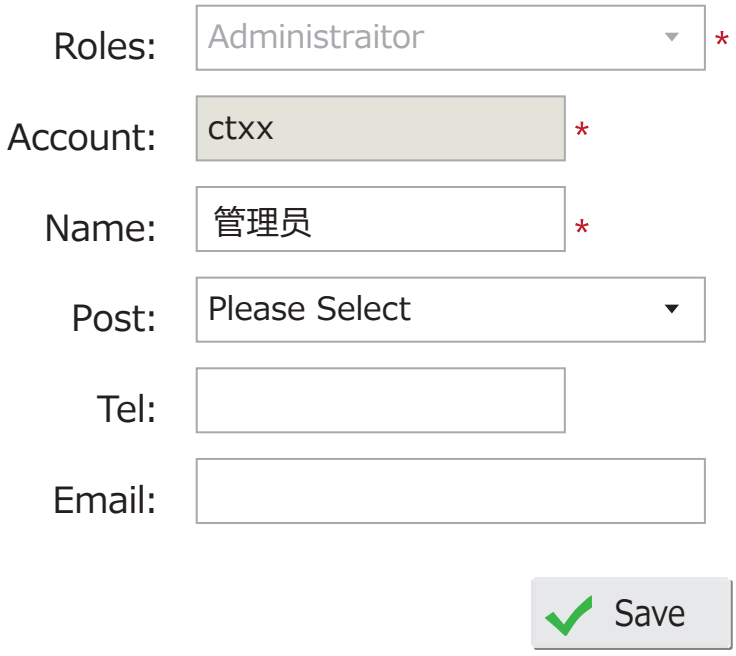
ロールが使用されなくなった場合 "Operation" 列の Logout をクリックしてロールを削除できます。削除されたユーザーは該当のシステムを利用できません。

5-11.3）ユーザー管理

ユーザーの削除と追加が可能です。既存のユーザーリストはユーザー管理メニューの右側に表示されます。

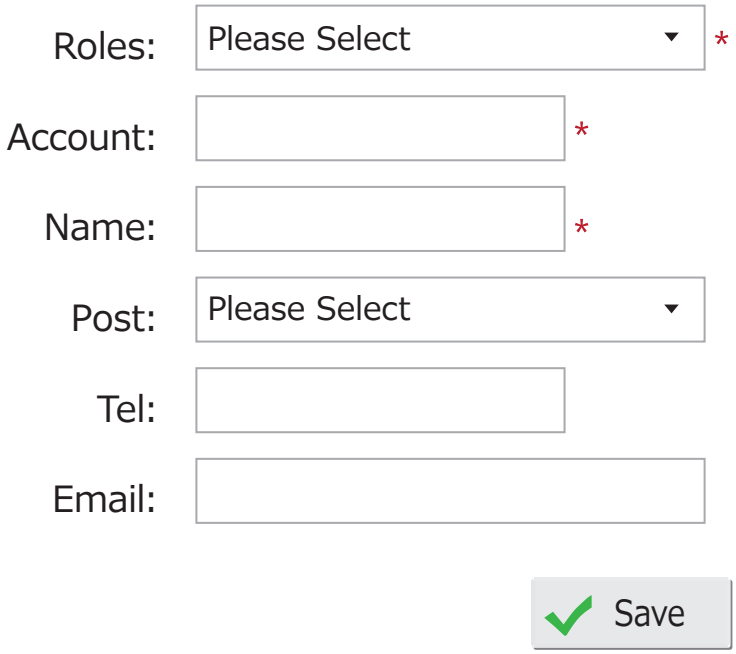
5-11.3a）ユーザー閲覧

"Account" 列のリンクをクリックするとメインオペレーションエリアに既存のユーザーが表示され、編集が行えます。ユーザーのロールは変更できます。アカウントの変更はできません。



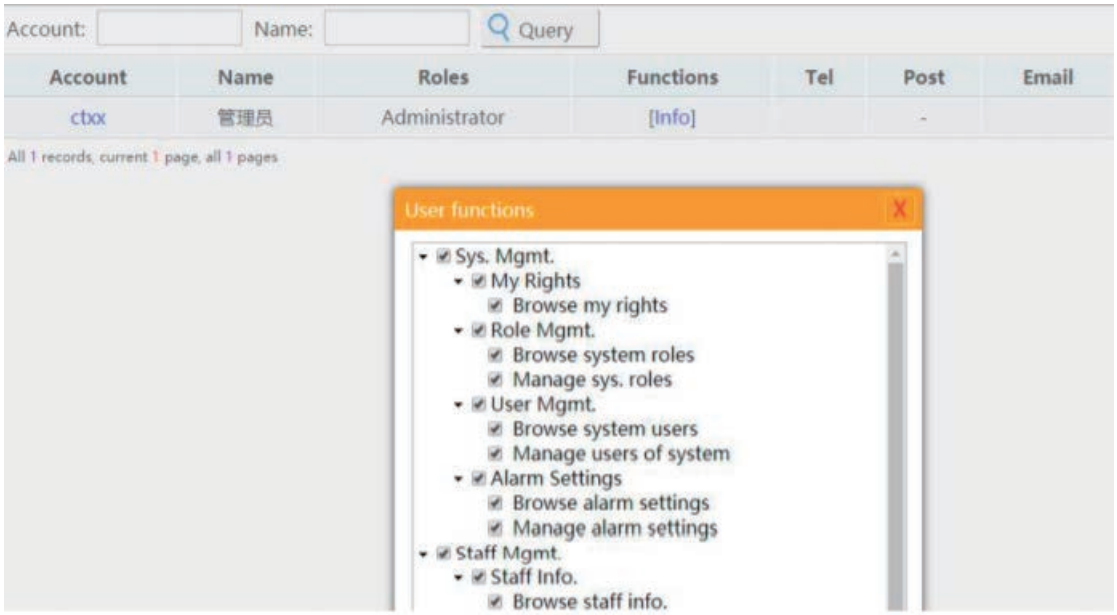
5-11.3b）ユーザーの追加

"Add User" をクリックするとインターフェイスが表示されます。



5-11.3c）ユーザー機能の閲覧

"Function" 列の "Info" をクリックして指定したユーザーの機能を表示します。



5-11.3d）ユーザーの削除

"Operation" 列の "Logout" のリンクをクリックして指定したユーザーの削除を行います。削除されたアカウントはシステムにログインできません。

5-11.3e）パスワードのリセット

パスワードを忘れた場合 "User" 列の "Reset Password" をクリックしてください。リセットパスワードは "123456" です。

5-11.4）アラーム設定

アラーム設定はシステムのアラーム条件を設定するために使用されます。
現在アラーム設定できるのは温度検知のみです。アラーム設定メニューをクリックすると右側に既存のアラーム設定が表示されます。

Alarm Name	Alarm Type	Alarm Thresholds	Push Mode	Operation
高温警报	Overtemp.	37.3	App	[Delete]

5-11.4a）アラーム設定の閲覧

Alarm Name 列のアラーム名をクリックして詳細を表示します。Alarm Type、Push Mode、Alarm Name、Recover のアラーム設定を調節できる場所です。

Alarm Type: Temp. Alarm *

Push Mode: App *

Alarm Name: 高温警报 *

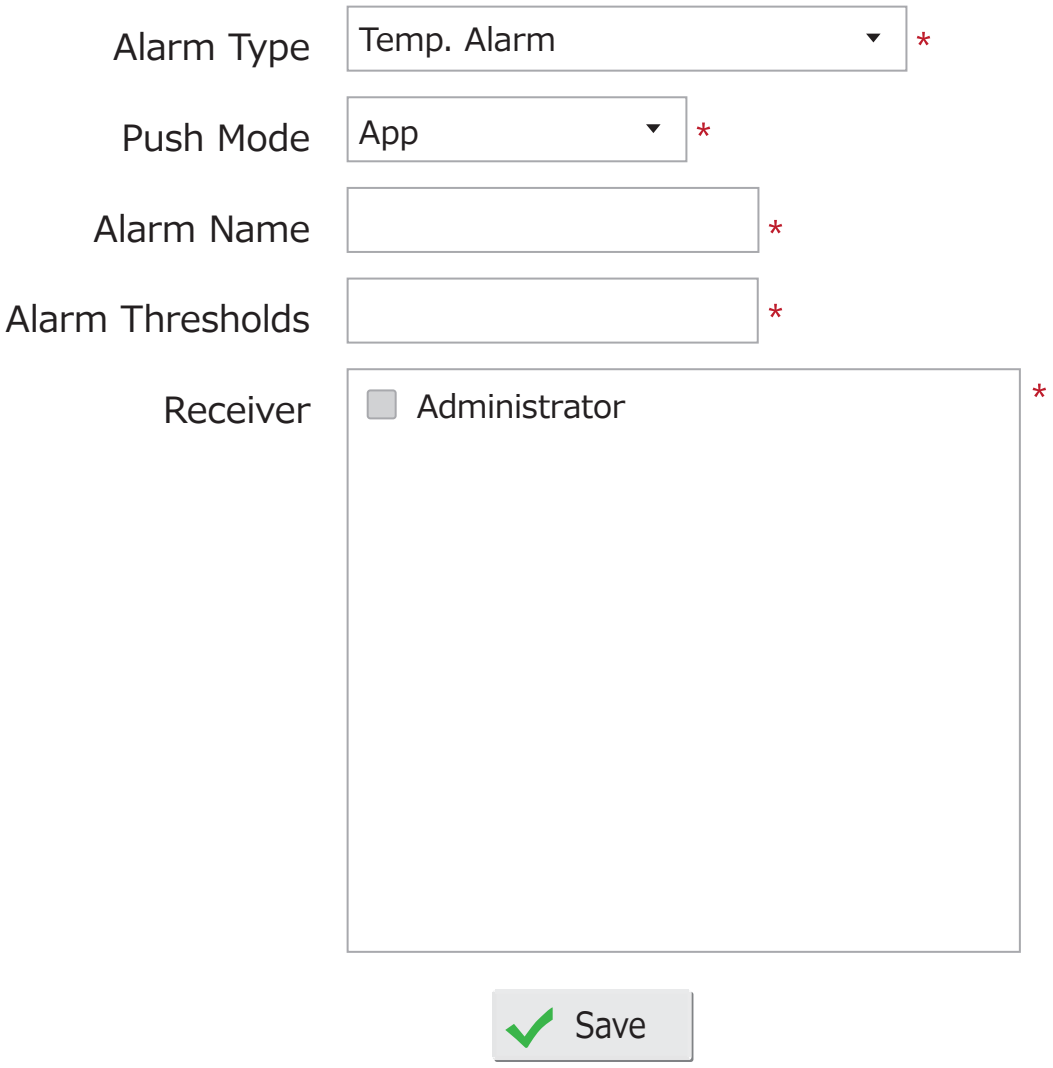
Alarm Thresholds: 37.3 *

Receiver: ☑ Administrator *

Save

5-11.4b）アラーム設定の追加

"Add Alarm" をクリックし、設定画面を表示します。アラームの内容を入力し "Save" を押して保存してください。



5-11.4c）アラーム設定の削除

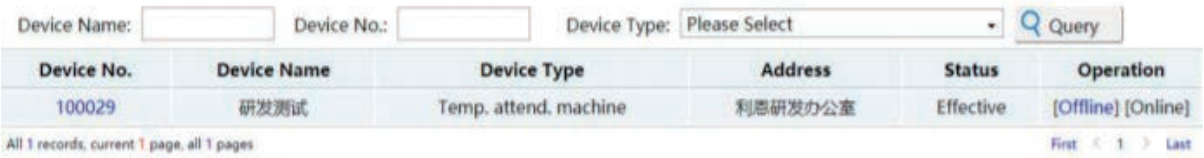
"Operation" 列の "Delete" をクリックして不要なアラーム設定の削除を行ってください。削除されたアラーム設定は機能されなくなります。

5-12）デバイス管理

デバイスの追加やデバイスのオンライン / オフライン設定などのカスタマーデバイスの管理ができます。

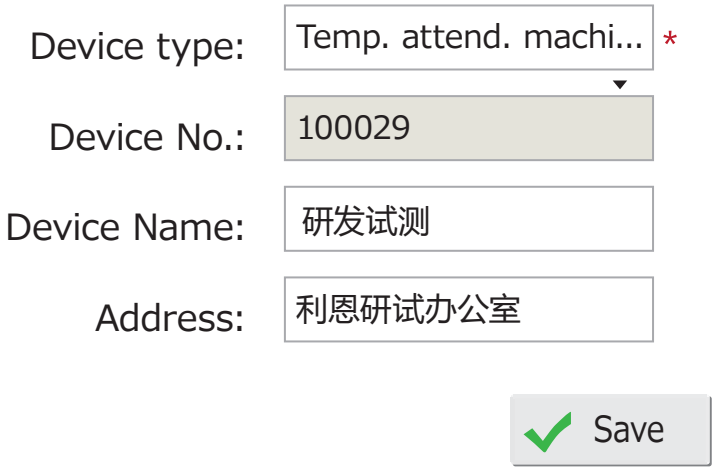
5-12.1）デバイスの説明

カスタマーデバイスの管理と閲覧が出来ます。デバイスのインフォメーションメニューをクリックすると左側に表示されます。カスタマーが現在所持している全デバイスのリストは右側に表示されます。



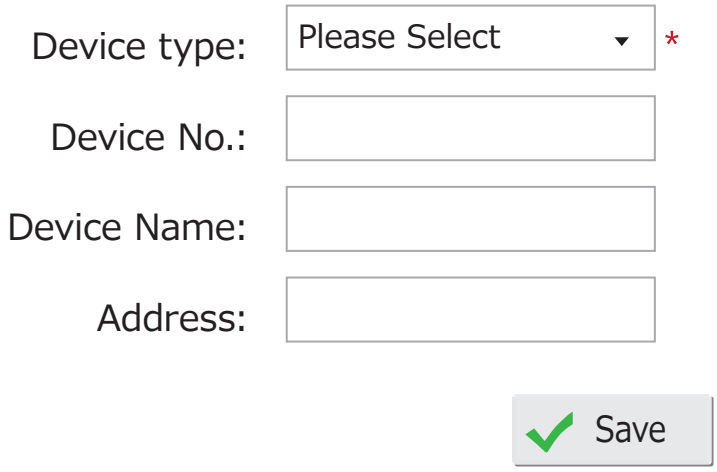
5-12.1a）デバイスの説明閲覧

"Device No." 内にデバイス番号を記入してデバイスの詳細の閲覧や変更を行う。



5-12.1b）デバイスの追加

"Add Device" をクリックしデバイスの説明を記入します。"Save" ボタンをクリックしてデバイスを登録します。アクティブ化されたデバイスはカスタマーのアカウントでログインする必要があります。この画面で登録された後でのみ正確に使用することが出来ます。



5-12.1c）デバイスのオンライン / オフライン設定

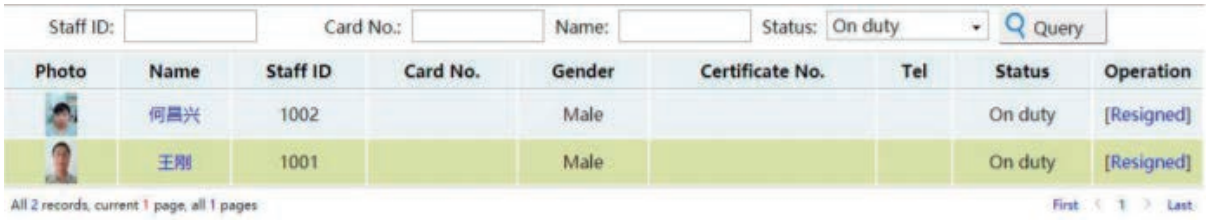
"Operation" の "Online" または "Offline" をクリックしてオンライン / オフラインの設定が出来ます。スタッフインフォメーションメニューの右側に管理システムが表示されています。

5-13）スタッフの管理

個人で使用するデバイスのスタッフ情報や配当表を含む管理が出来ます。

5-13.1）スタッフ情報 (スタッフインフォメーション)

スタッフを追加出来ます。スタッフ情報の修正や辞任プロセスを処理します。スタッフインフォメーションメニューをクリックすると管理システム画面の右側にスタッフ情報が表示されます。



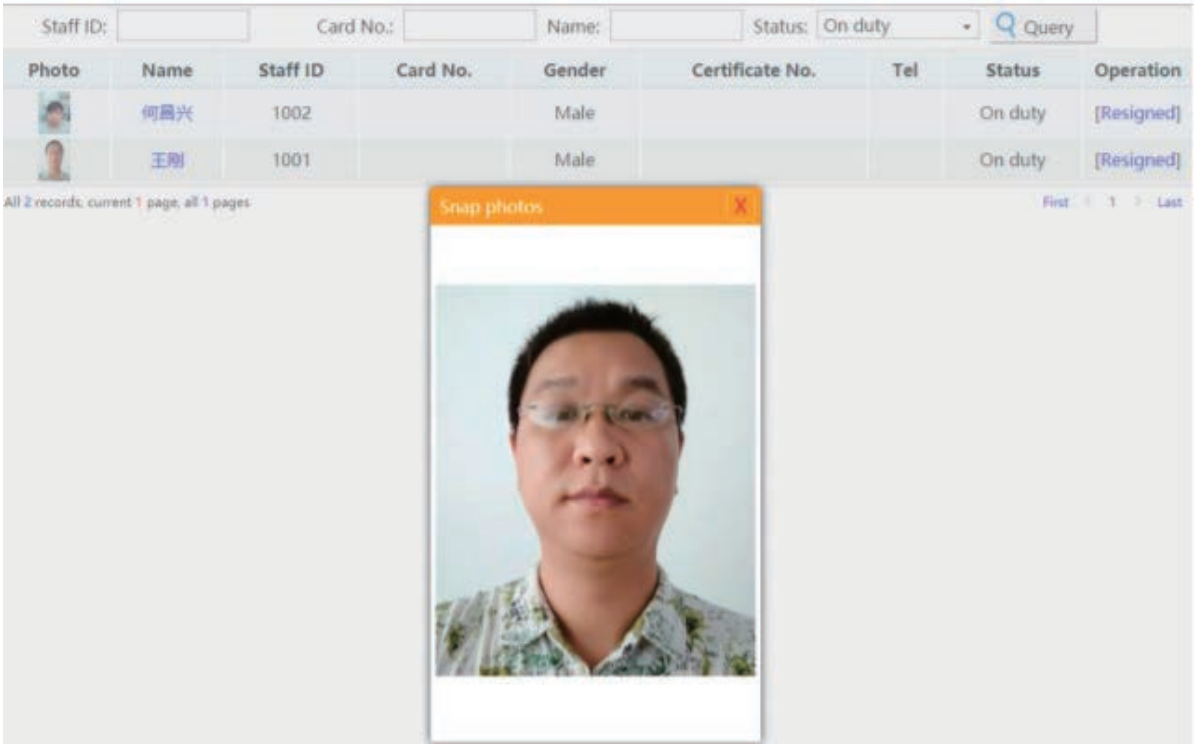
5-13.1a スタッフ情報の閲覧

スタッフリストで "Name" 列のスタッフ名をクリックしてスタッフ情報の表示や編集をします。

スタッフ情報を変更やスタッフ写真の変更が出来ます。スタッフの写真をクリックし、ファイル選択ダイアログボックスから写真を選択してアップロードします。

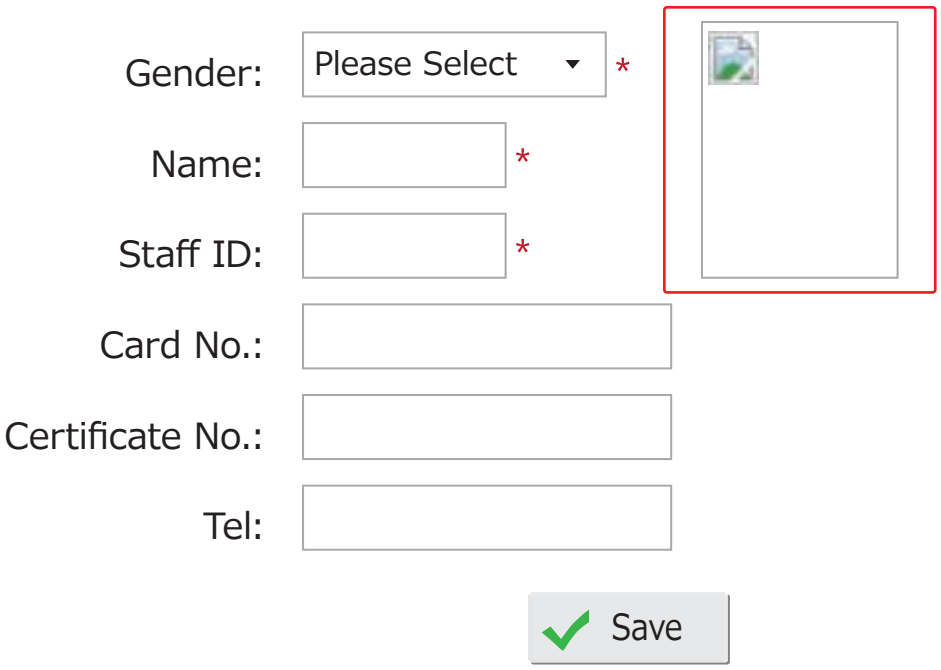
5-13.1b）スタッフ画像の確認

スタッフリスト内でスタッフのサムネイル（写真）をクリックし、拡大画像を表示します。



5-13.1c）スタッフの追加

スタッフインフォメーション画面の "Add Staff" ボタンをクリック後、スタッフの情報を記入します。"Save" をクリックしてスタッフ情報を追加してください。
スタッフ ID が使用されていない数字列であることを確認します。異なるメーカーからデバイスをサポートするために数字のみ ID の登録が可能です。
スタッフ情報が正常に追加された場合にのみ写真をアップロードできます。



5-13.1d）職員の辞任

退職したスタッフは "Operation" 列の "Resigned" をクリックしてステータスを辞任に設定します。辞任したスタッフは関連端末を利用できなくなります。

5-13.2）リスト配布

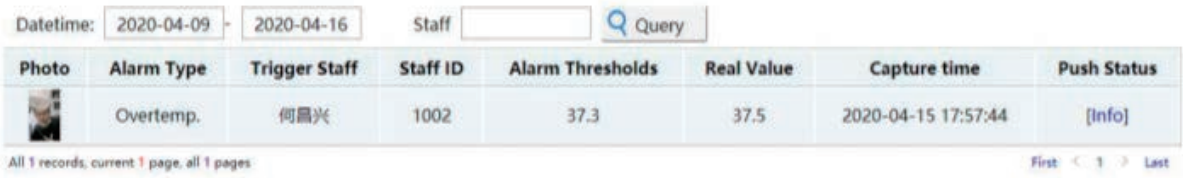
スタッフ情報を変更すると自動的に対応する端末にスタッフ情報をプッシュ通知します。
特殊なケースで特定の端末に特定のスタッフ情報を通知させたい場合は配当表の機能を使用することが出来ます。
配布表の機能では自動配布記録を含む全ての配布記録を表示できます。
配布表メニューをクリックすると全配布記録と現在のシステム上における配布ステータスが画面左側に表示されます。

5-13.2a）リストの再発行

再発行したいリストの "Reissue" をクリックすると、システムは自動的に指定された端末の再発行を行います。

5-14）アラーム管理

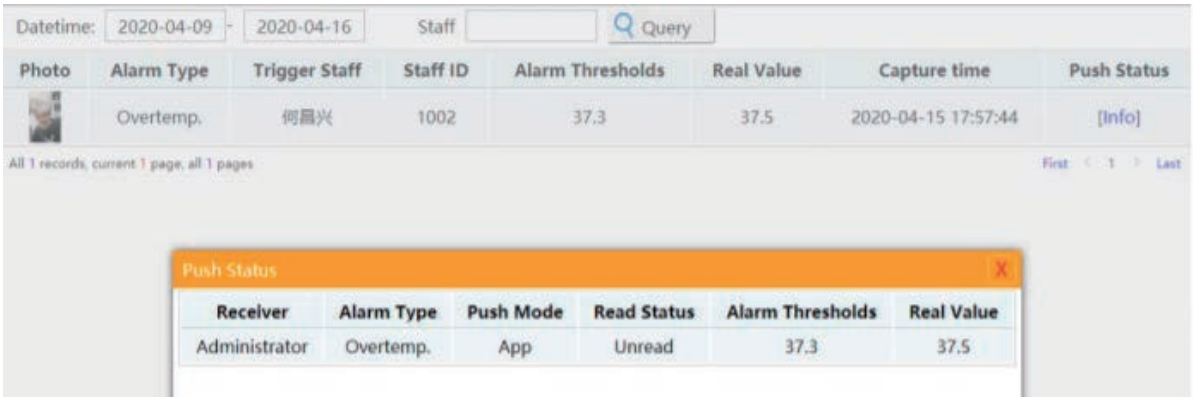
設定したアラームの測定記録の照会が出来ます。
アラーム照会メニューをクリックすると現在のシステムにおけるアラーム記録リストが右側に表示されます。条件選択で絞り込み機能を使用できます。

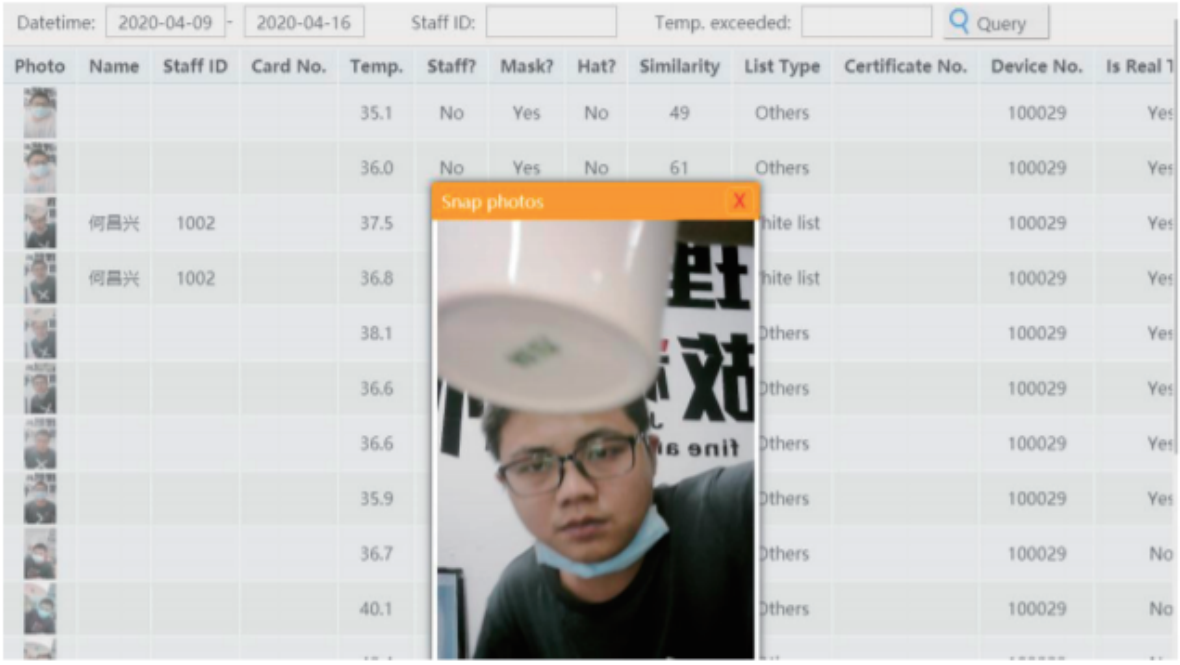


アラーム記録にはリアルタイムの写真が含まれています。サムネイル（写真）をクリックすると拡大やリアルタイムステッカーが表示されます。

5-14.1）プッシュ通知の閲覧

"Push Status" 列の Info をクリックすると指定したアラーム記録を確認出来ます。



5-15）記録管理

端末で全ての温度検知、顔認識、出席記録を紹介できます。"Query" をクリックするとシステム内の全ての記録が右側に表示されます。条件選択で絞り込み機能が使用可能です。記録一覧内のサムネイル（写真）をクリックするとリアルタイムの写真が表示できます。